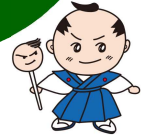


ある町の 天気相談所

Vol.13
2019.1.4

平成31年1月号



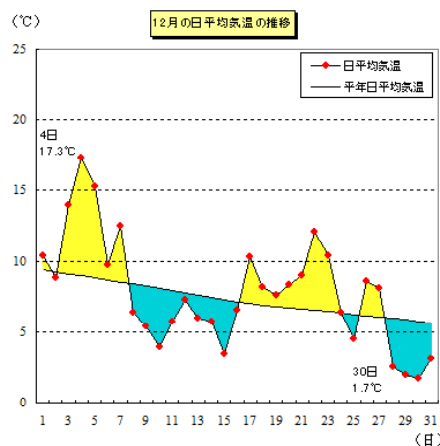
初日の出

2019年の1月1日朝は、雲が広がっていましたが、日の出の時間が近づくにつれ、海上には雲が残りましたが、少なくなっていました。7時の気温はマイナス0・1℃、西北西の風でした。



12月の気候

12月は、平均気温が7・8度と平年より高くなりましたが、気温の変動は大きく、最高気温は平年並みとなりました。降水量は15ミリと平年の35%しかなく、12月としては過去10番目に少ない記録となりましたが、雨や曇りの日が多く、日照時間も、155・7時間と、平年の84%と少なくなりました。



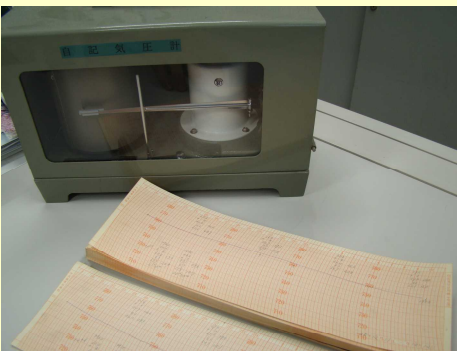
1カ月予報 (気象庁発表)

1月の気温は、はじめ平年並みですが、その後、暖かい空気に覆われやすく、平年より高くなる見込みです。降水量は平年並みか多い予想で、日照時間は平年並みの見込みです。

天気相談所のあゆみ

天気相談所の歴史5
観測方法2

24時間気象データを記録するために、開設当初から自記記録計が用いられてきました。自記記録計は、気温や風速などを機械的な動きや電気信号に変換し、自動的に回転する紙にペンなどで記録していくものです。現在、天気相談所に保存されている記録紙は、昭和27年から雨量、気温、湿度、気圧、風速、昭和33年から風向、昭和43年から日照のデータがあります。通常は原簿に記載されているデータを利用していますが、さらに詳細を確認したい場合は自記記録のデータを利用します。観測結果をデジタルデータとして保存をはじめから、次第に減り、新庁舎に移転した平成29年7月までの感雨の記録が、自記記録の最後です。



天気の用語の基礎知識

雨 雪

気象庁が15種類に分類している天気のうち、降水に関係しているものは、霧雨、雨、みぞれ、雪、あられ、ひょうがあります。液体で降ってくるものとして雨、霧雨があり、霧雨は雨のうちより小さな雨滴の場合になります。みぞれは、雨に雪が混じったり、雪が溶けかかったもの、あられとひょうはどちらも氷ですが、直径が5ミリ以上のものをひょうといいます。天気予報では「みぞれ」とは言わずに、雨または雪、雪または雨などと表現されたりします。

..... 神峰の山から

12月下旬、かみね動物園において、行政放送の番組収録を行いました。構想としては前からあったのですが、実際に番組とするのに、2年かかりました。動物園の動物と、日立の気象の関係の番組なのですが、かみね動物園の飼育員さんに実際に話を聞いて、広報戦略課の担当者に番組としてまとめていただきました。飼育員さんからの話を聞くと、結構知らないことが多くあり、5分にまとめるのに苦労するほどでした。動物園の大内さんと西川さん、広報戦略課の小林さん御協力ありがとうございました。